

平成21年度 自己評価書

学校名 和歌山市立伏虎中学校

校長名 下店文男

作成日

平成22年2月4日

学校教育目標

活気に満ちた伏虎中学校	美しく、仲良く、静かで、活力ある学校
-------------	--------------------

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の挨拶運動を継続する。 ・地域との連携を目標に様々な活動に参加する。 ・学習発表会を契機にし、学校開放、特に授業公開への保護者の参加を促す。 ・情報発信の方法を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習、宿泊研修等の充実 ・自主・自発的な特別活動を推進する。 ・職場体験活動に関する指導を計画的にすすめる。 ・学習発表会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の確立し、すべての生徒が授業に集中できる環境をつくる。 ・英語・数学においてはさらに少人数指導の充実を図る。 ・特別な支援を必要とする生徒の指導方法を研究する。 	
取組の具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> 朝、玄関前で、生徒及び職員数名で、生徒、職員間だけではなく、学校前を通る地域の方々や通勤者にも挨拶をする。 生徒会や部活動を中心に、地域で計画されるイベントなどには積極的な参加を促す。 学校から伝えたい情報の整理、その方法について具体的な計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会、及び、生徒会執行部会などにおいて、行事計画について綿密な打ち合わせを行い、事前事後の指導を充実させ、生徒の心の教育を図る。 特に、学習発表会については、内容、発表の工夫などには、生徒の表現能力を活かす取組を目標にし、成功させるには、「協力」が必要であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝一番の読書タイムを契機に、職員全体で、生徒が常に落ち着いた態度で授業に向かう指導を行う。 教科会、学年会や、特別支援委員会などで生徒の情報を共有し、その情報をもとに、いかに指導していくかについての現職教育を持つ。 	
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会の生徒は大きな声を出せるようになった。 吹奏楽部が地域の学校や祭りに演奏参加し、地域の方々から賞賛の声をいただき、活動の励みになった。 ホームページの一新を手がけたが、時期的に大変遅くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒総会、職場体験学習においては、事前事後の指導・準備を含めて大きな成果があった。 学習発表会については成果は認められるものの、発表内容の再検討の時期に来ていると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校後すぐには落ち着いた状態で読書タイムが迎えられている。しかし、まだ数名の遅刻者がいることが今後の課題である。 現職教育を通して、特別な支援を必要とする生徒についての職員間での共通理解が深まった。来年度へうまくつなげていきたい。 	
次年改善に方向付けての	<ul style="list-style-type: none"> 一新した学校ホームページの内容の更新や充実に取り組む。 掲示板等の計画的な更新と充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会実行委員会を早い目に立ち上げ、発表会の形態や内容の検討をおこなう。来年度は、国際理解教育の一環であるカナダ研修の年にあたるので、研修のまとめを学習発表会の中身に取り入れたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が進むにつれて遅刻者が増える傾向があることなどを、保護者にも連絡しながら協力を得る。 特別な支援を必要とする生徒についての共通理解をもとに、次年度の教科の指導に生かす。 	

その他学校運営についての課題や計画

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの社会研修のひとつの機会として、2年生の秋に職場体験を実施している。3日間という短い期間ではあるが、貴重な経験として子どもたちの成長につながっていると感じている。その成果を踏まえ、将来を見据えた進路指導につなげたい。
--